

第6回「あび北フォーラム」議事録（要約版）

1. **開催日時**：平成31年1月27日（日） 13：15～17：15
2. **場所**：我孫子北近隣センター
3. **参加者**：自治会・町内会等 42人（自治会と氏名は会議資料参照）
我孫子市役所 3人
あび北フォーラム事務局 13人（計 58人）

4. 議事

（1）開会宣言（事務局）

*「あび北フォーラム」は 我孫子北地区地域会議の略称だが 一昨年（平成29年）5月に第一回を開催し今回で6回目となりました。

この地区では36の団体に関係しているが、今回は27団体から42人が参加されています。

このフォーラムの主体は自治会の皆さんですが、本日出席の市役所の市民活動支援課の方々には毎月開催している事務局会議でサポートをして貰っています。行政と市民が共同でこのフォーラムを運営しています。

*それでは開催要領に沿って、会議を進めていきます。

本日のテーマは「防災に関する今後の具体的なグループ毎の活動計画策定」です。

会議は3つのグループに分かれて討議しますが、討議に入る前に、事務局より、「これまでのフォーラムの振り返り」「自助力向上の参考情報」「避難所運営委員会の必要性について」の情報提供を行います。

その後、グループ討議に入り、最後に、グループ毎に討議結果を発表してもらいます。

有意義な討議が展開されることを期待します。

(2) 挨拶

①「あび北フォーラム」事務局長代理

*「あび北フォーラム」では、最初のテーマを、地震に備え、住民の生命に直結する「避難行動」や「避難所運営」など「地震時の対応力向上」とし、その問題と対策について討論しています。本日は、具体的な対策実施項目とその実行計画までを、A、B、Cの各グループ毎に議論を深めて頂き、この4月からの新年度は対策の実行開始年度にしていきたいと思います。

*今年度末（3月末）で交代される自治会長・副会長さんには、新年度のフォーラムメンバーとなる自治会長・副会長さんに、このフォーラムの内容を必ず引き継ぐことをお願いいたします。

*本日の有意義な討論を期待しております。

②市民活動支援課長

*少子高齢化、地域交流の希薄化の2大テーマに対し、この「あび北フォーラム」の活動には期待しています。市民活動支援課も最大限、この「あび北フォーラム」の活動を支援していきたいと思っています。

(3) グループ討論の参考情報の提供（事務局）

グループ討論に入る前に、討論の参考として次の情報を事務局より提供しました。

①第1回～前回（第5回）までのフォーラムの振り返り（概要）の報告

②自治会活動での「自助力アップの参考資料」として、次の2点の紹介

- ・1点目：震災対策啓発資料として活用できる「消防庁防災マニュアル」

このマニュアルは総務省消防庁ホームページにあり、地震が発生した時の被災を最小限にする行動、地震が起きる前にしておくことなどが学習できるもの

- ・2点目：我孫子市でもホームページで呼びかけている「シェイクアウト訓練」

③「（共助力向上の）避難所運営委員会の必要性」について

- ・「避難所運営委員会」設立の重要性、意義を解説
- ・「避難所運営委員会」は平常時に準備することの重要性を熊本地震の例で解説
- ・我孫子市発行の「避難所開設・運営マニュアル」を元に、避難所ごとの「マニュアル」作成の必要性を解説

特に、「避難所運営委員会」の設立に関しては、千葉市は避難所の93%超で設立済み、柏市は平成32年度までに100%の設立を目指しているが、我孫子市は現時点「ゼロ」で今後の数値目標もない状況との説明があり、地震はいつ発生するか予断を許さない状況なので、市民安全課と避難所となる学校関係者にも参加してもらい、早期に委員会設立をしていくことが必要との呼びかけがなされました。

（4）グループ討議

討議に入る前に、今回のグループ分けの説明と各グループの進行係と書記の紹介が事務局より行われ、その後、各グループにて約2時間の討議が行われました。

<今回のグループ分けの説明>

前回のグループ分けは、Cグループの参加者数が少なかつたため、Cグループの方をBとDグループに振り分けて、4グループを3グループにして実施。

今回のグループ分けは、前回は継承し、3グループにて実施。

(5) グループ討議の結果報告

各グループの討議結果の報告を行い、参加者全員で各グループの討議結果を共有しました。

各グループからの報告は以下の通りです。

① Aグループ

* 総勢 17 名で討議しました。

* 避難所運営（の委員）について、（自治会の）役職で縛ることは如何なものかということ
で意見が一致しました。

そこで、毎回の避難所運営訓練に同じ人が出られるかわからないこともあることを想定し、
誰もが避難所運営に参加できるように、「受付から始まり運営まで」の簡単な、誰でもわ

かる「避難所運営マニュアル」を作り、それを（訓練の都度）バージョンアップしていく
方針で進めていこうということで意見がまとまりました。

まずは、簡単で誰でもわかる「避難所運営マニュアル」を作成していきます。

* 防災に関する取り組みは自治会毎に濃淡が顕著で、考え方の共通項を持たせていくことの

大変さを感じました。また、防災に関する事例を地域で継続して共有することが必要と言うことも感じました。

* 避難所となる学校（根戸小）の先生方の人事異動が想定されるので、その方々が着任された後の5月以降に学校を訪問して「避難所運営訓練」への協力をお願いし、「避難所開設訓練」をしていく方向で取組んでいくことにしました。

② Bグループ

* 前回のフォーラムで決定した、2月位に並木小で避難所運営疑似体験を実施することについての実施日は、体育館の借用日の関係から2月3日とした旨の報告が事務局よりあり、本日の討議は、事務局から提示の避難所運営疑似体験の実施項目とスケジュール（案）について協議し決定しました。

* 2月3日の疑似体験では、平常時に何も準備をしていない状況では訓練にはならず、何をしたらいいのかがわからない状況になることが想像できますが、そのことがわかるだけでよいということを確認しました。そして、この疑似体験後は、話し合いからはじめ、避難所運営準備委員会なるものの立ち上げを検討していくことにしました。

また、Bグループが避難所運営準備委員会設立を先導していくことになるかもしれないがそれでもやっ払いこうということでも意見の一致をみました。

* 今回の討議では、2月3日に並木小体育館で避難所運営の疑似体験を行い、そして、そこから避難所運営準備委員会の立ち上げを（していこう）と皆さん意気に燃えていらしたと感じました。

③ Cグループ

*当グループのマンショングループでは、指定避難所以外でも多くの避難者のいる場所には非常用飲料水・食料等の配給拠点にして欲しい旨の要望書を市へ提出したとの報告がありました。この要望書は、マンショングループから市に提出してはいるが、戸建てグループでも在宅避難者には共通する要望であることを共有しました。

*戸建てグループとマンショングループで先ず顔合わせから始め、意見交流を開始することとしました。

*避難所運営については、第4小学校（を避難所とする）地区の自治会は30あるが、Cグループ自治会の中で第4小学校を避難所とするのは5自治会のみで2割弱なので、我孫子南地区の自治会との連携が必要との話がありました。マンション群は根戸小が多いが、そこは、Aグループの動きが具体的になった時点で連携をお願いしたいと考えています。

(6) 事務局から参加者へのお願い事項

事務局より、参加者に以下のお願いがありました。

「開催の挨拶で事務局長代理より話があった様に、本日参加された自治会等の会長・副会長の方々で次年度に交代される方は、必ず本年度に配付された書類共々このフォーラムで討議されたことを次年度の新会長・副会長に引き継いで頂きたい。また、自主防災会の方々に於かれては、新会長・副会長を補佐して頂きたい。」

(7) 閉会

最後に、事務局より閉会の言葉があつて終了しました。

以上